

証券コード●4559

健康づくりは幸せづくり  
Making Health is making happiness

第53期

株主通信

平成18年4月1日～平成19年3月31日



ゼリア新薬

ZERIA



株主の皆様におかれましては、  
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
第53期の事業概況に関しまして、  
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊部 幸顕

## Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念

### CONTENTS

株主の皆様へ .....	P.1
営業の概況（連結） .....	P.2
研究開発 .....	P.5
株主様ご優待のお知らせ .....	P.6
財務諸表（連結） .....	P.7
財務諸表（単体） .....	P.9
連結財務ハイライト .....	P.11
会社情報 .....	P.12
株式情報 .....	P.13
株主メモ .....	P.14



# 営業の概況（連結）

## 当期の業績

当期の業績は売上高は、527億57百万円（前期比5.0%減）となりました。利益につきましては、経常利益33億41百万円（前期比77.8%増）、当期純利益20億68百万円（前期比65.6%増）となりました。なお、当期配当金につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。

## 事業部門別状況

### ●医療用医薬品部門

医療用医薬品部門におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

最重点領域である消化器官用薬におきましては、市場環境の変化と市場競争が激化する中、営業力をこの領域に一層注力した結果、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック<sup>®</sup>」は、平成18年7月に発売した口腔内崩壊錠「プロマック<sup>®</sup>D錠75」の市場浸透が進み売上は伸びました。しかし、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノン<sup>®</sup>カプセル75・150」、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン<sup>®</sup>・S顆粒・ES錠」は、薬価引き下げによる影響を受けて売上は減少いたしました。一方、循環器分野の製品ラインアップ強化の一環として、下肢静脈瘤硬化剤「ポリドカスクレロール<sup>®</sup>0.5%・1%・3%注2mL」を平成18年12月に発売いたしました。また、開発中の炎症性腸疾

患治療剤「Z-206（アサコール<sup>®</sup>）」の協和発酵工業株式会社との共同開発・共同販売契約に伴う契約一時金を当部門の売上に計上しております。

これらの結果、当部門の売上高は、344億6百万円（前期比3.6%増）となりました。

### ●コンシューマーヘルスケア部門

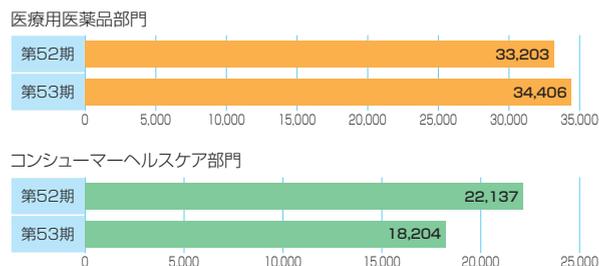
コンシューマーヘルスケア部門におきましては、超高齢社会が進展する中、セルフプリベンション（予防）を指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」は、競合品が多数ある中で引き続き順調に伸長し関節痛内服薬市場で6割以上のシェアを取り、トップブランドの地位を堅持いたしました。また、当社が長年研究を続けてきたコンドロイチンを配合した基礎化粧品「ZZ:CC<sup>®</sup>（ジージー・シーシー）アドソープエッセンス」を当社初の通信販売ルート専門の化粧品として発売いたしました。一方、滋養強壮剤「ヘパリーゼ<sup>®</sup>群」も売上を拡大いたしました。更に、スキンケア関連製品のブランド強化を図るべく、「アポステイー<sup>®</sup>群」に多数の新製品を投入しラインアップを強化いたしました。

しかしながら、前期末に行った一部健康食品の取引見直しの影響により、部門全体としては減収を余儀なくされました。

これらの結果、当部門の売上高は182億4百万円（前期比17.8%減）となりました。

### ●連結売上高（単位：百万円）



### ●事業別売上高構成



# 営業の概況（連結）

## 研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績がある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

注力領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、米国インカイン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「ビジクリア®錠」は、平成19年4月に承認され、上市準備を進めております。

また、スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206（アサコール®）」は、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを実施しておりますが、協和発酵工業株式会社と平成19年1月に締結した共同開発及び共同販売契約に基づき、クローン病を対象とした臨床試験の準備を同社と共同して進めております。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」は、機能的ディスペプシアを適応として国内及び欧

州でフェーズⅡ、米国では実施許諾契約に基づきアステラス製薬株式会社がフェーズⅡを実施しております。

「プロマック®」につきましては、味覚障害効能追加のフェーズⅢを実施しております。

「Z-360」は、欧州において膵臓癌に対するフェーズⅠb/Ⅱa（患者を用いた安全性・有効性の検討）を実施しております。また、「アンサー®注」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」は臨床開発開始に向けて準備を進めております。

「アシノン®錠75mg・150mg」につきましては、平成19年3月に承認され、上市準備を進めております。

なお、「プロマック®D錠75」（口腔内崩壊錠）につきましては、平成18年2月に承認され、平成18年7月に発売さ



### ●主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(75,150)
	プロマック顆粒15%・D錠75
	マーズレン-S顆粒・ES錠
	新レシカルボン坐剤
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10,20,40)・ポリドカスクレロール(0.5%,1%,3%注2ml)
血液及び体液用薬	アンサー-20注
医療機器	アピテン、シリンジアピテン

### ●主要一般用医薬品等

種別	製品名
代謝性用薬	コンドロイチンZS錠
	新ヘパリーゼプラス・新ヘパリーゼドリンク
	ハイゼリーB・ハイゼリーBフレッシュ
	新ローヤルゼロントB
滋養強壯剤	ハイゼリー顆粒・ハイゼリー散
胃腸薬	ウイズワン・ウイズワンα・ウイズワンプラス・ウイズワンエル
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
医薬部外品	ローヤルVH
	ビタヘルサン
外皮用剤	アボスティー(ローション・マイルドローション・モイスターローション・洗顔フォーム・クリーム)
	ドルマイシン軟膏
	ドルマイコーチ軟膏
栄養補助食品	新健康習慣シリーズ

れました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、新製品、PB品を順次発売いたしました。

これらの結果、研究開発費は57億72百万円（前期比14.8%減）となりました。

## 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、更なる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、コンシューマーヘルスケア部門の事業拡充の一環である筑波工場第2号棟は平成18年11月に竣工し、平成19年1月より本稼動いたしました。

## 次期の見通し

医療用医薬品部門におきましては、医療制度改革や企業再編など環境変化の一層の進展が予測される中、変化に迅速に対応するべく導入した情報システムの効果的な運用を推進いたします。また、営業力を強化する一方、引き続きITを利用したプロモーションシステムを活用することにより、既存製品の売上の増大とともに当計画期間中に上市する製品を早期に市場浸透させ、収益性の向上を推進いたします。これらにより消化器領域を中心に確固たる地位を築いてまいります。

コンシューマーヘルスケア部門におきましては、超高齢社会の進展を背景に、消費者ニーズに応えた「コンドロイチン群」は第5次中期経営計画期間において業界トップの地位を固めました。当計画期間においても、更なる顧客拡大に注力するとともに、新たなナショナルブランド品の育成を進めてまいります。また、改正薬事法に基づく一般用医薬品の新販売制度が平成21年までに完全施行される中、セルフメディケーションの高まりに応えるスイッチOTC薬の充実も含めて、業界内での地位向上を目指してまい

### 筑波工場第2号棟

## クローズアップ



筑波工場第2号棟外観

総工費：約45億円

延べ床面積：約2,600坪（8,500㎡：第1号棟と同程度）

主な生産品目：医薬品、医薬部外品、健康食品のドリンク剤（微炭酸飲料も可）

生産能力：1億本

容量：30、50、100～120ml

容器：ガラス瓶、アルミ缶

包装：紙箱、シュリンクパック、紙パック

\*注）主な生産品目～包装は、第1号棟も含む

ます。

研究開発におきましては、国際社会に貢献する新薬創出を目指して医療用医薬品の新薬パイプラインの一層の充実を計画しております。当計画期間中に、新薬3品目、適応症追加1品目、剤型追加2品目の上市を見込んでおります。また、超高齢社会が進展するなか、セルフメディケーションに貢献できるスイッチOTC薬等を含めたコンシューマーヘルスケア製品の開発を積極的に進めてまいります。

生産物流部門におきましては、コンシューマーヘルスケア部門の事業拡充の一環として、平成18年11月に筑波工場第2号棟を竣工いたしました。営業部門及び開発部門との連携のもと生産性向上によるコスト削減と高い品質を確保してまいります。

更に、当社グループ全域にわたる生産性向上を狙い、統合基幹システムの構築を計画しており、これらを活用しながら事業の効率化を推進してまいります。また、会社法、金融商品取引法等の施行に対応した内部統制の体制整備とその運営を強化し、当社グループ経営の信頼性を更に高める努力を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 研究開発

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて14テーマであります。

## 研究開発の状況

### I. 国内開発状況

#### 1) 消化器系分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認	Z-205/ リン酸ナトリウム	自社	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤	導入
	ZL-101/ ニザチジン	自社	胃・十二指腸潰瘍 逆流性食道炎・胃炎	錠剤	導入 アシノン剤型追加
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵工業)	クローン病	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
フェーズⅡ	Z-338/ Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社オリジナル

#### 2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅠ 準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

### II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ (韓国)	Z-103/ ポラプレジンク	導出 (SK Chemical)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/ Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅠb/Ⅱa (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社オリジナル
フェーズⅠ 準備中(米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社オリジナル

# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。新しくDコースを加え、4つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくごお願い申し上げます。

## Aコース

### からだの脂肪を考える、新コンセプト食品 『新健康習慣』1箱 (2週間セット)

『新健康習慣』は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220キロカロリーという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。



## Bコース

### 健康飲料『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』 (720ml入り2本セット)

『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』は1日の摂取目安量90ml中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mgおよびコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的に過ごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



## Cコース

### 美容・健康商品 『化粧品・ミニドリンク剤 詰め合わせセット』



大人ニキビ対策として好評いただいているコンドロイチン含有の『アポスティー洗顔フォーム』および『アポスティーマイルドローション』を各2本と、ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合し1本わずか2Kcalノンシュガータイプのミニドリンク剤ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー、同『りんご味』ノンシュガー各10本入り1箱をセットにしました。

『アポスティー 洗顔フォーム』(化粧品) 60g × 2本  
『アポスティーマイルドローション』(医薬部外品) 150mL × 2本  
ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL × 10本入り1箱  
ローヤルゼリー配合『りんご味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL × 10本入り1箱

## Dコース

### コンドロイチン配合夜間集中美容液(化粧品) 『ZZ:CC(ジージー・シーシー) アドソープエッセンス』(1本)

『ZZ:CC(ジージー・シーシー)アドソープエッセンス』は当社が長年研究を続けてきたコンドロイチンを配合した「夜間集中美容液」です。

高純度コンドロイチンと従来の美肌成分コラーゲン、ヒアルロン酸を独自の割合で配合。これを新・機能性保湿&保護成分「スキンルーツPGⅢ」と名付けました。更に持続性ビタミンC誘導体やビタミンP誘

導体および、各種植物エキスも配合しました。夜間集中してお使いいただくことで、眠っている間に角質層まで十分浸透し、翌朝まで肌の水分をとらえて逃がさない一方、美肌成分を送りつづけ透明感のある素肌をめざします。



# 財務諸表（連結）

## 連結貸借対照表（要旨）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>24,011</b>	<b>24,278</b>
現金及び預金		2,147	2,152
受取手形及び売掛金		15,225	13,922
たな卸資産		3,821	4,827
繰延税金資産		847	864
その他		2,022	2,560
貸倒引当金		△52	△47
<b>固定資産</b>		<b>32,527</b>	<b>34,240</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>17,412</b>	<b>19,981</b>
建物及び構築物		4,743	6,503
機械装置及び運搬具		915	3,331
土地		9,346	9,811
建設仮勘定		2,059	12
その他		347	322
<b>無形固定資産</b>		<b>1,149</b>	<b>1,379</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>13,965</b>	<b>12,879</b>
投資有価証券		8,148	7,447
長期前払費用		4,187	3,525
繰延税金資産		19	197
その他		1,747	1,793
貸倒引当金		△136	△83
<b>資産合計</b>		<b>56,539</b>	<b>58,519</b>

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>		<b>19,861</b>	<b>18,915</b>
支払手形及び買掛金		6,490	5,909
短期借入金		8,253	8,039
その他		5,117	4,967
<b>固定負債</b>		<b>7,324</b>	<b>10,005</b>
社債		1,000	2,000
長期借入金		4,588	6,739
退職給付引当金		1,478	947
その他		257	318
<b>負債合計</b>		<b>27,185</b>	<b>28,921</b>
<b>[少数株主持分]</b>			
少数株主持分		—	—
<b>[資本の部]</b>			
<b>資本金</b>		<b>6,593</b>	<b>—</b>
資本剰余金		5,414	—
利益剰余金		21,283	—
其他有価証券評価差額金		2,226	—
自己株式		△6,164	—
<b>資本合計</b>		<b>29,353</b>	<b>—</b>
負債、少数株主持分及び資本合計		56,539	—
<b>[純資産の部]</b>			
<b>株主資本</b>		<b>—</b>	<b>28,096</b>
資本金		—	6,593
資本剰余金		—	5,414
利益剰余金		—	22,673
自己株式		—	△6,585
評価・換算差額等		—	1,500
其他有価証券評価差額金		—	1,498
繰延ヘッジ損益		—	2
<b>純資産合計</b>		<b>—</b>	<b>29,597</b>
負債・純資産合計		—	58,519

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高		55,545	52,757
売上原価		26,781	24,129
売上総利益		28,763	28,627
販売費及び一般管理費		26,819	25,189
営業利益		1,944	3,438
営業外収益		229	212
営業外費用		294	308
経常利益		1,879	3,341
特別利益		494	359
特別損失		141	105
税金等調整前当期純利益		2,231	3,595
法人税、住民税及び事業税		778	1,224
法人税等調整額		204	303
当期純利益		1,248	2,068

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,265	2,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,031	△4,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		△4	2,136
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5	0
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		△775	9
現金及び現金同等物の期首残高		2,790	2,015
現金及び現金同等物の期末残高		2,015	2,025

## 連結株主資本等変動計算書(要旨)

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円、端数切捨て)

項目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△678		△678				△678
当期純利益			2,068		2,068				2,068
自己株式の取得				△420	△420				△420
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)						△728	2	△726	△726
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,390	△420	969	△728	2	△726	243
平成19年3月31日残高	6,593	5,414	22,673	△6,585	28,096	1,498	2	1,500	29,597

# 財務諸表 (単体)

## 貸借対照表 (要旨)

科目	期別	前期	当期
		平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>23,322</b>	<b>23,790</b>
現金及び預金		1,517	1,542
受取手形		994	983
売掛金		14,708	13,505
たな卸資産		3,785	4,797
繰延税金資産		790	828
その他		1,570	2,171
貸倒引当金		△43	△38
<b>固定資産</b>		<b>31,066</b>	<b>32,748</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>15,640</b>	<b>18,227</b>
建物		3,931	5,693
土地		8,195	8,658
その他		3,512	3,875
<b>無形固定資産</b>		<b>1,149</b>	<b>1,378</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>14,277</b>	<b>13,141</b>
投資有価証券		7,987	7,283
長期前払費用		4,187	3,525
繰延税金資産		—	123
その他		2,239	2,293
貸倒引当金		△136	△83
<b>資産合計</b>		<b>54,389</b>	<b>56,539</b>

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前期	当期
		平成18年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>		<b>19,217</b>	<b>18,282</b>
支払手形		2,934	2,632
買掛金		3,528	3,261
短期借入金		6,070	5,700
1年以内返済予定の長期借入金		1,756	1,858
未払法人税等		279	1,000
賞与引当金		849	904
返品調整引当金		224	216
売上割戻引当金		336	236
その他		3,239	2,473
<b>固定負債</b>		<b>6,282</b>	<b>9,042</b>
社債		1,000	2,000
長期借入金		3,577	5,864
退職給付引当金		1,469	931
役員退職慰労引当金		178	198
その他		56	47
<b>負債合計</b>		<b>25,500</b>	<b>27,325</b>
<b>[資本の部]</b>			
<b>資本金</b>		<b>6,593</b>	—
資本剰余金		5,414	—
利益剰余金		20,819	—
その他有価証券評価差額金		2,225	—
自己株式		△6,164	—
<b>資本合計</b>		<b>28,889</b>	—
<b>負債・資本合計</b>		<b>54,389</b>	—
<b>[純資産の部]</b>			
<b>株主資本</b>		—	<b>27,713</b>
資本金		—	6,593
資本剰余金		—	5,414
利益剰余金		—	22,290
自己株式		—	△6,585
評価・換算差額等		—	1,500
その他有価証券評価差額金		—	1,497
繰延ヘッジ損益		—	2
<b>純資産合計</b>		—	<b>29,214</b>
<b>負債・純資産合計</b>		—	<b>56,539</b>

## 損益計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前 期	当 期
		平成17年4月 1日から 平成18年3月31日まで	平成18年4月 1日から 平成19年3月31日まで
売上高		54,344	52,025
売上原価		26,450	23,792
売上総利益		27,894	28,233
販売費及び一般管理費		26,545	25,088
営業利益		1,349	3,145
営業外収益		616	448
営業外費用		266	281
経常利益		1,699	3,311
特別利益		494	359
特別損失		141	103
税引前当期純利益		2,052	3,567
法人税、住民税及び事業税		568	1,137
法人税等調整額		183	281
当期純利益		1,300	2,149
前期繰越利益		1,055	—
中間配当額		343	—
当期末処分利益		2,012	—

## 株主資本等変動計算書(要旨)

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：百万円、端数切捨て)

項 目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	20,819	△6,164	26,663	2,225	—	2,225	28,889
事業年度中の変動額									
別途積立金の積立			—		—				—
剰余金の配当			△678		△678				△678
当期純利益			2,149		2,149				2,149
自己株式の取得				△420	△420				△420
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△728	2	△725	△725
事業年度中の変動額合計	—	—	1,470	△420	1,050	△728	2	△725	324
平成19年3月31日残高	6,593	5,414	22,290	△6,585	27,713	1,497	2	1,500	29,214

# 連結財務ハイライト

項目	第49期 H15/3	第50期 H16/3	第51期 H17/3	第52期 H18/3	第53期 H19/3
売上高 (百万円)	55,055	54,375	56,209	55,545	52,757
経常利益 (百万円)	3,004	2,404	1,999	1,879	3,341
当期純利益 (百万円)	2,039	1,553	1,385	1,248	2,068
総資産 (百万円)	50,310	48,304	55,162	56,539	58,519
純資産 (百万円)	29,708	29,330	27,715	29,353	29,597
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	6.9	5.3	4.9	4.4	7.0
売上高経常利益率 (%)	5.5	4.4	3.6	3.4	6.3
売上高当期純利益率 (%)	3.7	2.9	2.5	2.2	3.9
総資産経常利益率 (%)	5.7	4.9	3.9	3.4	5.8
自己資本比率 (%)	59.1	60.7	50.2	51.9	50.6
1株当たり当期純利益 (円)	42.82	33.93	31.77	29.23	48.96
1株当たり純資産 (円)	633.32	654.74	652.45	691.22	703.57

(注) 第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

## 連結子会社 2社

### ゼリアヘルスウェイ株式会社

売上高 29億95百万円  
 資本金 85百万円 (持株比率100%)  
 事業内容 健康食品の仕入・販売

### 株式会社ゼービス

売上高 5億86百万円  
 資本金 1億80百万円 (持株比率100%)  
 事業内容 保険代理業・不動産業等

## ■ 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,134名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入  2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療機器の製造、 販売及び輸出入

## ■ 役員 (平成19年6月28日現在)

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
常務取締役	猪 口 博 明
常務取締役	長 江 晴 男
常務取締役	斎 藤 武
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	吉 島 光 之
取 締 役	熊 井 雅 一
取 締 役	永 谷 康 典
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	瀬 沼 宏 章
取 締 役	森 山 茂 之
取 締 役	堀 博 之
取 締 役	竹 内 治 之
取 締 役	吉 村 和 彦
取 締 役	山 本 隆 光
取 締 役	降 旗 繁 弥
取 締 役	遠 藤 広 和
常勤監査役	浜 野 峻 至
常勤監査役	花 田 雅 彦
監 査 役	小 森 哲 夫
監 査 役	中 由 規 子

## ■ 事業所

● 本 社	東京都中央区
● 札幌支店	札幌市
● 仙台支店	仙台市
● 東京支店	東京都中央区
● 神奈川営業所	横浜市
● 埼玉営業所	さいたま市
● 千葉営業所	千葉市
● 北関東営業所	水戸市
● 関越営業所	新潟市
● 甲信営業所	松本市
● 名古屋支店	名古屋市
● 静岡営業所	静岡市
● 大阪支店	吹田市
● 大阪第二営業所	堺市
● 神戸営業所	神戸市
● 京都営業所	京都市
● 金沢営業所	金沢市
● 中四国支店	広島市
● 岡山営業所	岡山市
● 高松営業所	高松市
● 松山営業所	松山市
● 福岡支店	福岡市
● 中央研究所	埼玉県熊谷市
● 埼玉工場	埼玉県熊谷市
● 筑波工場	牛久市
● 東京物流センター	川口市
● 札幌物流センター	札幌市
● 埼玉物流センター	埼玉県熊谷市
● 大阪物流センター	大東市
● 出張所	青森・郡山・宇都宮・富山・米子・山口・高知・徳島・大分・ 熊本・長崎・鹿児島・沖縄

## 株式の状況

①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,804名

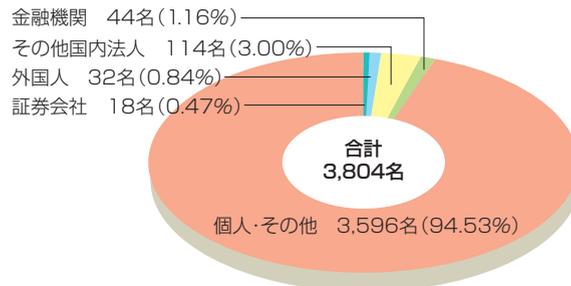
## 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	13.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	4.6
森永乳業株式会社	1,854,741	4.4
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,830,417	4.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,521,000	3.6
伊部 幸顕	1,415,425	3.4
株式会社三井住友銀行	1,278,301	3.0
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.6
あいおい損害保険株式会社	858,691	2.0
中央三井信託銀行株式会社	639,000	1.5

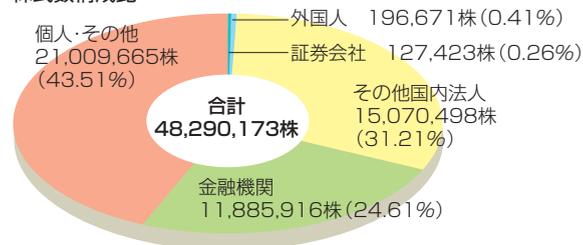
(注)出資比率については、自己株式(6,222,992株)を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況

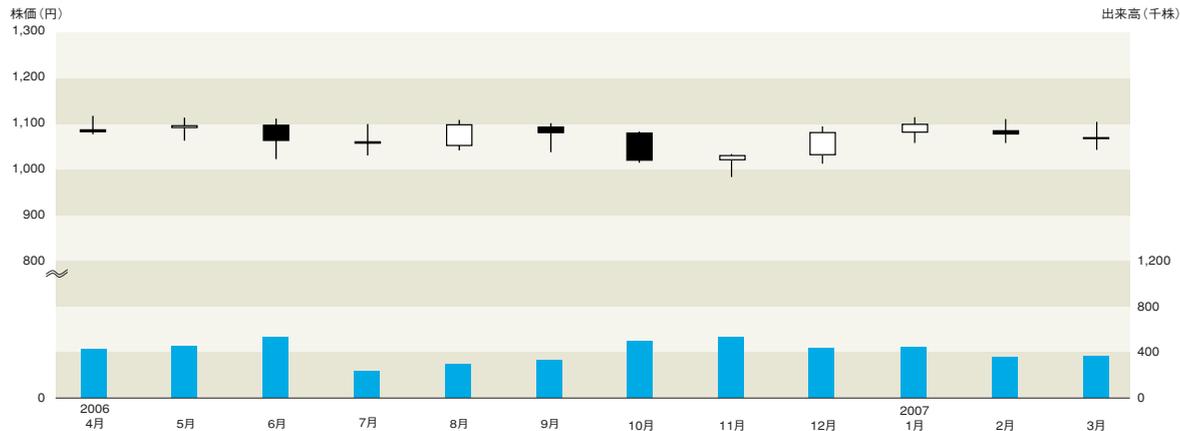
### 株主数構成比



### 株式数構成比



## 株価および出来高の推移



# 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 3月31日  
権利行使株主確定日
- 期末配当金 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日  
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告方法 電子公告による  
<http://www.zeria.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 〒105-8574  
東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社証券代行部  
0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 証券コード 4559

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページ

☎0120-87-2031

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)で24時間受付しております。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080  
<http://www.zeria.co.jp/>